

大館市鉄道モーダルシフト実証事業

協議会名:大館市鉄道モーダルシフト実証コンソーシアム

協議会構成員

大館市、日本貨物鉄道株式会社東北支社、ニプロ株式会社、DOWAエコシステム株式会社

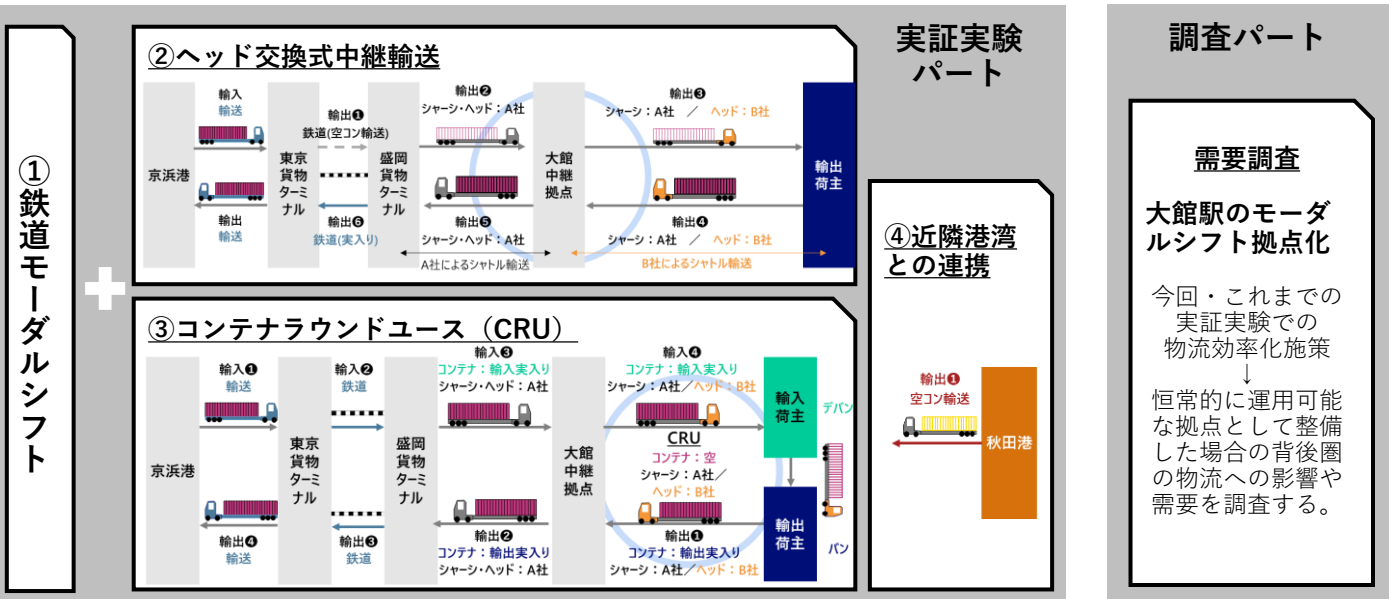
【事業実施背景】

- 輸出入産業が集積する秋田県北部では、京浜港とのトラック輸送において、ドライバー不足・環境負荷増大といった課題を抱えている。
- トラックドライバー不足への対応のため、「海上コンテナ輸送の効率化施策の実証試験」と、今後の「大館駅の鉄道モーダルシフト拠点化の需要調査」を実施する。

事業内容

東京港－大館／小坂間で、トラック輸送している輸出入貨物について以下の取組を実施。

- Point
- ①鉄道モーダルシフト
 - ①+②ヘッド交換式中継輸送・・・大館－盛岡間のトレーラー輸送の負担軽減
 - ①+③コンテナラウンドユース※2・・・企業間での空コンテナの再利用による回送輸送の削減
 - ①+④近隣港湾との連携・・・近隣港湾への空コンテナ返却実施による回送距離抑制



想定事業実施効果

- 【ドライバー運転時間省力化】
77.9%削減
- 【環境負荷削減への対応】
CO₂ 68.3%
- 【事業展開】
実運用の効果が実証された場合、将来的に中継拠点を大館貨物駅と機能連結させ、海上コンテナを取り扱うインランドデポ※1へ拡張する。圏域全体の物流効率化を推進する。
- ※1 インランドデポ
コンテナの積み込み積卸しや通関手続きなど、通常は港で行う作業を内陸で行う物流施設
- ※2 コンテナラウンドユース
輸入で使用した空のコンテナを港へ返却せず、次の輸出貨物の輸送に再利用する取り組み